

公益社団法人日本化学会 東日本大震災被災者支援事業 「マイクロスケール化学実験講習会」実施要項

1. 事業名

公益社団法人日本化学会 東日本大震災被災者支援事業 「マイクロスケール化学実験講習会」

2. 趣旨・目的

昨年度の東日本大震災の被災に伴う実験器具等の不足により通常の化学実験が困難な盛岡市内中学校の理科の教師を対象にマイクロスケール実験実習を実施する。このマイクロスケール実験の考え方や実験技術を中学校に広めて実践していただくことにより、最小限の実験器具で十分に化学実験を行うことができるようになり、被災地の子供達が化学実験を体験する機会を増やすことが可能となる。さらに環境に配慮した新たな理科教育環境を作り出すのにも役立てることができる。

3. 主催

日本化学会東北支部（平成24年度東北支部長：東北大学多元研 教授 佐藤次雄）

4. 共催

（予定）盛岡市教育委員会、岩手大学

5. 期日

2012年12月22日（土）午前9時30分～午後4時

6. 会場

盛岡市子ども科学館2F実験室（〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷13-1）
（協力：館長 竹田紀夫先生 ほか）

7. 指導

東北大学医療技術短期大学部名誉教授 荻野和子先生

8. 対象

盛岡市と近隣市町村の中学校の理科教員、合計20名

9. 講習の内容

対象：盛岡市とその近隣市町村の中学校の理科教師。募集人数：20名。

マイクロスケール化学実験の説明と実験実習。使用薬品が少なく廃棄物も少なく、教室での数多くの化学実験に対応できる。キットにしてある点が大きな特徴。

実験内容：物質の特性、気体の発生の実験、熱分解、電気分解、水溶液の電気分解、化合、定比例、質量保存の法則の実験、イオン、酸・アルカリの実験等

10. タイムスケジュール

午前9時30分 集合

午前10時～11時 開講（日化東北支部挨拶、荻野先生の講義）

午前11時～12時 マイクロスケール実験（1）

午前0時～午後1時 昼食

午後1時～2時30分 マイクロスケール実験（2）（3）

午後2時30分～3時30分 実験結果のまとめ、荻野先生の講評、質疑応答

午後3時30分～4時 日本化学会からの各種アナウンス等

午後4時 解散

11. 付記

日本化学会東北支部では2013年1月末に岩手県釜石市においても同一の東日本大震災被災者支援事業を実施する予定である。

12. 連絡先

日本化学会東北支部2012年度岩手地区幹事

嶋田和明（〒020-8551 岩手県盛岡市上田4丁目3-5 岩手大学工学部応用化学・生命工学科 教授）

TEL & FAX: 019-621-6324, email: shimada@iwate-u.ac.jp